

山梨県中小企業団体中央会機関誌

中小企業 タイムズ

6月号
2014年
第691/266号
(毎月1日発行)

発行所 山梨県中小企業団体中央会

甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215・FAX (237)3216

http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

今月の見どころ

- 1面 ●第59回山梨県中小企業団体中央会通常総会を開催
- 2面 ●平成26年度山梨県中小企業団体中央会表彰
- 3面 ●県内業況と動向について(4月の報告)
●業界の声を取材
- 4面 ●組合活動あれこれ紹介
- 5面 ●事業活動を紹介
- 6面 ●学生企業レポート
- 7面 ●新陳代謝型ものづくり補助金の紹介
- 8面 ●やまなし合同就職説明会2015を開催

定価100円

昭和36年4月10日 第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

5月の出来事

●時事

集团的自衛権問題

●山梨県中央会ニュース

9日…ものづくり補助金交付申請説明会

15日…第2回正副会長会議、中央会第1回
理事会

6月の予定

2日…平成26年度中央会通常総会

3日…青年中央会通常総会・講演会

28日…「中小企業の森」整備事業



山梨県中小企業団体中央会は、6月2日(月)午後2時より昭和町「セレス甲府」において、第59回表彰式典及び通常総会を開催し、会員組合等の関係者、来賓、受賞者など約200名が参加した。

平成26年度 第59回 中央会通常総会を開催

通常総会の前に開催された表彰式典では、内藤会長が式辞として、組合活動に尽力された感謝状贈呈者と会長表彰受賞者へのお礼と労いの言葉が述べた。

続いて、組合の理事長を退任した29名へ感謝状の贈呈が行われた後、優良組合として企業組合山のパン屋桑の実、優良組合青年部として山梨県菓子工業組合青年部に中央会会長表彰が授与された。続いて、組合功労者23名、青年部功労者4名、女性部功労者1名、優良専従職員7名に対しても表彰状が授与された。(各表彰者は2面に詳細)

また、受賞者を代表して上野原工業団地事業協同組合前理事長の守屋博文氏から謝辞があった。

表彰後には、来賓の平出巨山梨県副知事、宮川典子衆議院議員、堀内詔子衆議院議員、棚本邦由県議会議長、山本知孝甲府市副市長、友好団体を代表して小林寛樹山梨県商工会連合会会長から祝辞をいただいた。

内藤会長はあいさつの中で、「共同事業により戦後の我が国の経済成長を牽引する力となってきた中小企業組合制度も、近年の大きく変化する経済状況の中で変革を求められている。地域経



通常総会であいさつをする内藤会長

して信頼され、頼られる支援機関となるよう、全力を傾注する」と述べた。

式典終了後の通常総会の議案審議では、平成25年度事業報告及び決算関係書類が承認され、続いて平成26年度事業計画及び収支予算、賦課金の改訂、定款一部変更等が原案のとおり決定された。

総会審議の中で、中央会としては22年ぶりとなる会費の値上げが上程され可決決定されたが、内藤会長からは改めて「事務局職員は、値上げした会費に見合う評価を組合と組合員企業からいただき、信頼され頼られる中央会となるように、支援ニーズをしっかりと把握してスピード感をもって事業を展開するように」との指示があった。



謝辞を述べる守屋氏

新年度の事業計画が決定

平成26年度

山梨県中小企業団体中央会表彰

山梨県中小企業団体中央会感謝状

感謝状(退任理事長) 29名

- 浅川 益幸 (一般社団法人いずみそば組合)
- 石井 瑛子 (上野原織物工業協同組合)
- 江本 隆一 (峡南林業整備生産協同組合)
- 圓崎 和幸 (県南資源循環協同組合)
- 大澤 以清 (協同組合同母工業団地工業会)
- 大村 春夫 (山梨県ワイン酒造協同組合)
- 大森 武正 (山梨県遊技業協同組合)
- 小川 利英 (企業組合かすがい農産物直売所)
- 小俣 孝 (大月商店街協同組合)
- 片田 義光(故) (身延竹炭企業組合)
- 北川 湜博 (甲府市廃棄物事業協同組合)
- 木村 勝幸 (都留機械金属工業協同組合)
- 小中澤春男 (山梨県環境計量事業協同組合)
- 五味 政治 (山梨物流事業協同組合)
- 佐藤 和彦 (富士・東部建設業協同組合)
- 佐藤 孝之 (山梨県森林整備生産事業協同組合)
- 清水 勝一 (山梨県飲食業協同組合)
- 鈴木 浩文 (甲府菓子工業協同組合)
- 田中 奉文 (峡西ガス協同組合)
- 辻 太郎 (甲州市管工事協同組合)
- 戸栗 林哉 (甲斐市管工事協同組合)
- 保坂 孝夫 (山梨県葬祭事業協同組合)
- 松村 公二 (東日本エコシステム協同組合)
- 三神 茂 (山梨総合管財事業協同組合)
- 望月 孝 (山梨県印刷用品卸商工業協同組合)
- 望月未知也 (西嶋和紙工業協同組合)
- 守屋 博文 (上野原工業団地事業協同組合)

- 山本 孝夫 (一般社団法人山梨県測量設計業協会)
- 吉村 達夫 (大月エルピーガス販売協同組合)

山梨県中小企業団体中央会会長表彰

優良組合 1組合

企業組合山のパン屋桑の実

優良組合青年部 1組合

山梨県菓子工業組合青年部

組合功労者 23名

- 石原 武次 (山梨県電気工事工業組合)
- 井上 修 (山梨県自動車整備商工組合)
- 井上 忠三 (山梨県クリーニング生活衛生同業組合)
- 塩谷宇多和 (南アルプス市管工事協同組合)
- 大宮 義郎 (山梨県わた寝具商工組合)
- 大村 和雄 (山梨県菓子工業組合)
- 久保田倫弘 (雨畑開発事業協同組合)
- 久保田勇司 (山梨県地質調査事業協同組合)
- 興石 輝夫 (山梨県学校給食パン協同組合)
- 齋藤 忠文 (山梨県コンクリート製品協同組合)
- 佐々木宏明 (山梨県自動車整備商工組合)
- 貴家昭三三 (山梨療術業協同組合)
- 田中 好輔 (山梨県自動車整備商工組合)
- 谷口 昌 (市川中央商店街協同組合)
- 中込 寿 (山梨県板金工業組合)
- 中山 敦美 (山梨県漬物協同組合)
- 野田 一洋 (山梨県菓子工業組合)
- 樋口 幹男 (朝日通り商店街協同組合)

青年部功労者 4名

- 三浦 初子 (山梨療術業協同組合)
- 柳沢 明仁 (早川砂利協同組合)
- 山中 達夫 (山梨県電気工事工業組合)
- 渡辺 栄一 (山梨県財形住宅協同組合)
- 渡辺 初夫 (岳麓自動車検査事業協同組合)

女性部功労者 1名

- 町田美佐子 (山梨県トラック事業協同組合女性部)

優良専従職員 7名

- 井上 欣也 (山梨県民信用組合)
- 功刀 一政 (山梨県民信用組合)
- 坂本 貴子 (都留信用組合)
- 志村 由香 (都留信用組合)
- 津金 一仁 (山梨県民信用組合)
- 森本 亮 (甲府市資源回収協同組合)
- 渡辺 勝子 (山梨中央青果商業協同組合)

富士山に続け! 南アルプス



富士山の世界文化遺産登録は、本県にとって喜ばしい出来事であった。先頃県が発表した平成25年の山梨県への観光客入込調査によれば、山梨県を訪れた観光客は2,315万7千人で、前年より8.5%増えたことがわかった。地域別に見ると富士・東部地域が前年より13.5%増、外国人観光客は48万3千人で、前年より34.5%増となっており、富士山の世界登録遺産の効果が顕著に表れたといえる。

さらに、富士山に次ぐ高峰である北岳を有する南アルプスのユネスコエコパーク登録に向けた活動が活発化している。ユネスコエコパークは、ユネスコの国際協力プログラムの一つとして1971年から開始され、地域の自然と文化を守りながら地域社会の発展を目指すものであり、手つかずの自然を守り続ける世界自然遺産とは大きな違いがある。登録される要件には、まず保護地域など自然環境を守らなければならない核心地域、自然を活用した環境教育・野外活動・観光やレジャーなどの緩衝地域、人が暮らして様々な社会活動や企業活動ができる移行地域の3つの地域で構成されることとされている。

南アルプスは山梨県、長野県、静岡県県の3県の東西15キロ、南北50キロの広範囲にわたる山岳地帯であり、周りの山々が人々の行く手を阻んできた。そのため動植物の多様に富んだ生態系が保存されている。現在ユネスコエコパーク登録に取り組む自治体は3県10市町村で、本県では韮崎市、北杜市、南アルプス市、早川町が名乗りをあげているが、県内の多くの市町村が少子高齢化と過疎化など大きな課題を抱えている中で、富士山に続く本県2番目のユネスコ登録は自然保護の活用により、新たな地域振興を目指す取り組みとなる。単に観光客を呼び込むのではなく、立地や自然など特色を生かした山梨らしい事業展開や新産業が創出されることを期待したい。

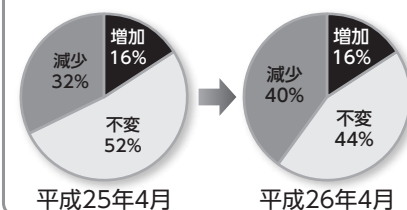
業界の動き

平成26年
4月分



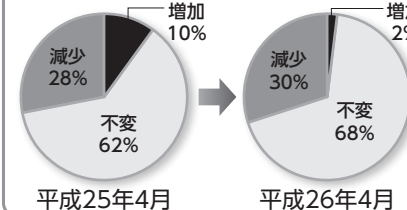
データから見た業界の動き(平成26年4月分)

▶ 売上高 (前年同月比)



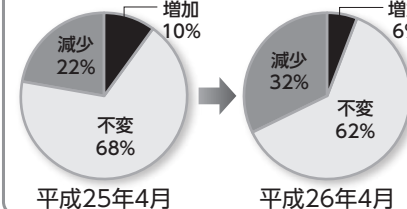
- DI値 ▲24(前年同月比▲8)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲25(前年同月比▲15)
 - 非製造業 ▲23(前年同月比▲3)
- 前月比DI値
 - 製造業 35ポイント悪化
 - 非製造業 63ポイント悪化

▶ 収益状況 (前年同月比)



- DI値 ▲28(前年同月比▲10)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲25(前年同月比▲5)
 - 非製造業 ▲30(前年同月比▲13)
- 前月比DI値
 - 製造業 15ポイント悪化
 - 非製造業 30ポイント悪化

▶ 景況感 (前年同月比)



- DI値 ▲26(前年同月比▲14)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲35(前年同月比▲25)
 - 非製造業 ▲20(前年同月比▲7)
- 前月比DI値
 - 製造業 30ポイント悪化
 - 非製造業 43ポイント悪化

●山梨県中小企業団体中央会情報連絡員報告

情報連絡員による県内の4月の業況報告では、消費税率引き上げに伴う売上の落ち込みは想定内としているものの、前月比の下落幅はリーマン・ショックや東日本大震災を上回る落ち込みとなった。

製造業は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が顕著となった。

非製造業も、燃料への環境税の増税、高速道路の割引率縮小・廃止等による仕入れコストの上昇など、消費税以外の負担増が悪化に拍車をかけた。

しかし、建設業や宿泊業などは、受注・売上が堅調に推移しており消費税率引き上げによる影響に格差がみられる。

今後は、消費税率引き上げによる消費者マインドの低下や原材料価格の高騰、燃料費の値上げなど、コストアップ要因や人手不足による受注見送りなどが懸念される。

業界からの報告

●製造業

●食料品(水産物加工)／ギフト関係は低調。大口のスポット受注があり全体の売上は前年同月比114%。

●食料品(洋菓子製造)／デザートやコンビニエンスストア向けが好調で売上は前年同月比102%。

●食料品(菓子)／消費税率引き上げに伴い、受注減。

●繊維・同製品(織物)／裏地は1割減、ネクタイはクイルピスを控え厳しい状況。インテリア関係は前月並み。

●木材・木製品製造／4月の消費税率引き上げに伴う反動はほとんどない。

●家具製造／3月までの駆け込み需要の反動により予想通り景気は悪化。

●窯業・土石(砂利)／繁忙期も終え、集荷量も減少。

●鉄鋼・金属(1)／業況は良くないが、昨年度が悪かったのが今年は昨年よりは

良い。

●鉄鋼・金属(2)／受注状況は厳しい。

●一般機器／値下げ要請の動きがあり、価格に見合った仕事内容であるかを検討。

●電気機器／3月に駆け込み受注が多く、その反動で4月の受注は減少。

●その他(貴金属)／3月の駆け込み需要から転じ落ち込みがみられる。特に、小売部門が顕著で卸部門では高額品が相変わらず好調に推移。

●卸売(ジュエリー)／消費税率引き上げに伴い売上減。消費者マインドの落ち込みを懸念。

●非製造業

●小売(青果)／市場への入荷量が増加しているため価格は安定しているが、小規模小売店の売上比率が低下傾向。消費税率引き上げに伴う価格転嫁ができず苦慮している組合員

●不動産取引／消費税増税により中古住宅、中古マンション、販売住宅の購入者が例年並みになったが、宅地の売上は若干上向き傾向。

●宿泊業(1)／消費税増税により需要減。中国との外

もいる。

●小売(水産物)／4月は前年比15%減。事業継続を断念する組合員が多く、脱退者はリーマンショック以来の数になる見込み。

●小売(電機製品)／消費税率引き上げ反動に伴う、売上減。テレビ、エアコン、冷蔵庫の主力3商品は前年度割れ。

●小売(石油)／4月からの消費税率引き上げと石油石炭税のダブル増税により値上げとなったが、消費者の節約志向などにより販売量が減少し各給油所の経営は厳しい。

●商店街(1)／消費税増税の影響からか来街者が減少。

●警備業／公共工事が継続しているため業界全体では繁忙状況だが、建設業の交通誘導では収益が上がりつつない。

●建設業(総合)

●建設業(総合)／全国的に有効求人倍率が上昇しているが、山梨県の有効求職者数は減少しており地域間の雇用需給格差が拡大傾向にある。

●建設業(住宅関連)／2月の雪害による屋根等の補修工事依頼が増加傾向に

あるが廻りきれず、職人、資材不足のため工事の遅延が発生している。また、建設資材の値上げが続いている。

●建設業(型枠)／既に年内の請負工事は全て決まっているため、これから入札される仕事は断らざるを得ない企業もあり仕事を受けても工期が厳しくなる。材料や人件費の上昇も重なり工事単価も上昇しているが、都市と地方の受注の単価格差が大きく、工事の選択を迫られるなど厳しい経営環境におかれている。

●運輸(タクシー)

●運輸(タクシー)／年度替わりのため歓迎会などもあり4月の前半は売上が増加したが、後半は利用者の減少から売上減となった。消費税増税に伴う資金繰りが厳しい。

●運輸(トラック)／高速道路料金の割引制度の改正に伴い経費増。経営を圧迫している。

業界の声

○富士吉田市環境事業協同組合

理事長 松浦真吾氏

業界の現況と活動は？

富士吉田市では、大量消費社会からの脱却と環境保全のために、平成21年から指定ごみ袋の導入を行い、ごみの減量意識の高まりを後押ししてきました。

本組合は、平成23年に富士吉田市内のごみ収集・運搬・処分等を行うために設立され、翌年に富士吉田市と業務委託契約を締結し、市内の家庭系一般廃棄物の収集運搬と資源物処理の共同受注を行っています。

昨年6月に富士山が世界文化遺産に登録されたを受けて、本組合では富士山と「不法投棄対策業務委託契約」を締結し、毎年開催されている公益財団法人による環境美化クリーン作戦に参加、吉田口登山道をメインに不法投棄一斉監視パトロールを実施し、不法投棄物の回収などにも協力することになりました。

また「災害時における生活系廃棄物の収集・運搬等に関する協定」も締結しており、本年2月の大雪の際には、交通網が遮断されている中で市内の生活環境の確保を行うため、コミュニティセンター等に集められたゴミをまとめて回収するなどの協力をしました。

今後の展開について

「富士山」の世界遺産登録はゴールではなく、本来の自然を守って行くための新たなスタートであり、現在行っている活動には更に力を入れていきたいと考えています。

今後、周辺の環境を守るための活動として、環境美化クリーン作戦への参加を含め、清掃活動や廃棄物パトロールなどのゴミ処理への対策、登山者等へのマナー啓発及び植樹活動などの取り組みを行っていきたく考えています。

また、不法投棄の抑止を行うため組合員の車両には「不法投棄防止」巡視中」のステッカーを貼っての呼びかけや監視パトロール、家電製品等の不法投棄物の回収活動も積極的に行っていくと考えています。



不法投棄物の回収作業

農産物の計画的生産・出荷を検討する研究会を開催

ACTIVE KUMIAI



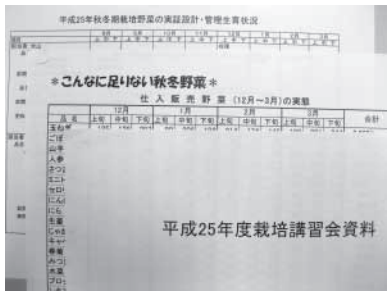
安全・安心・新鮮な農産物等を消費者に提供し、生産と消費が一体化した産地づくりを推進している風土記の丘農産物直売所(一般社団法人中道農産物加工直売組合)では、直売所で品不足状態となる冬期(12月～3月期)の品揃え対策の検討を行うための「特産品・出荷農産物生産研究会」(以下、生産研究会)を設置し、定期的に開催を行ってきた。

活動開始から3年目を迎えた生産研究会は、組合の生産担当理事2名と甲府市内の各地区から選ばれた9名の組合員の計11名で構成され、直売所のブランドとなる野菜の生産や一年を通じての店頭の商品揃えを充実させるための出荷システム構築や栽培計画の検討を行い、組合員(生産者)に農産物の計画的な生産についての提案を行っている。

特に、路地野菜が不足する冬場の品揃え対策については、多くの直売所が直面している共通した課題となっている。当直売所も、冬場の品不足を解消するためにこれまでは市場からの仕入れに頼ってきたが、生産研究会によつて農産物リストを作成し、不足する野菜の種類と数量を把握できたことで組合員に直売所の実態を知ってもらい、生産協力についての共通認識が高まった。

12月から3月にかけて不足する秋冬野菜(玉ねぎ、ごぼう、人参、山芋、ミニトマト、キャベツ、レタスなど)を計画的に栽培するために、それぞれの担当を決め、栽培の実証設計と併せ管理生育状況の報告を随時行うなど、問題解決に向けての取り組みが始まっている。

また、当直売所のオリジナルブランド野菜についても、現在、最終段階に向けての取り組みが進んでおり、今秋には具体的なブランド名の発表が予定され、今後の展開が期待されている。



研究会で検討してきた資料(25年度)

TOPICS



多くの来場者で賑わった

食肉事業協同組合連合会、JA全農などと連携し毎月29日を「肉の日」とし、山梨県内でも14店舗(店頭)の「のぼり旗」が目印で食肉等の特別販売(毎月29日を含む数日間)日を実施するなどキャンペーンを実施しており、消費者がより「食肉」を身近に感じられるような業界全体の取り組みを行っている。

また、食肉業界では、全国食肉事業協同組合連合会、JA全農などと連携し毎月29日を「肉の日」とし、山梨県内でも14店舗(店頭)の「のぼり旗」が目印で食肉等の特別販売(毎月29日を含む数日間)日を実施するなどキャンペーンを実施しており、消費者がより「食肉」を身近に感じられるような業界全体の取り組みを行っている。

山梨県食肉事業協同組合連合会

ACTIVE KUMIAI

美味しい山梨がいっぱい！県産・国産食肉をPR！

山梨県食肉事業協同組合連合会(高野修理事長)は、昨年度県内で行われる様々なイベントに参加し組合活動のPRを行った。これは、「平成25年度食肉情報等普及・啓発事業」「平成25年度食肉小売機能高度化推進事業」活用し、(社)日本食肉協議会、全国食肉事業協同組合連合会の協力を得ながら毎年実施しているもので、25年度も山梨県産牛肉の試食をはじめ、山梨県産食肉及び国産食肉に関する知識の普及を図るなど様々なPR事業を展開した。

中でも11月16日(土)・17日(日)小瀬スポーツ公園で行われた「県民の日記念行事」は、参加したイベントの中でも最大のイベントで、組合ブースでは試食コーナーとして山梨県産特定銘柄牛肉・豚の焼肉の提供を行うと同時に、アンケート用紙を配布しその場で記入いただき回収することで来場者との交流を深めて組合活動のPRを行った。



イベントの様子

TOPICS

山梨県絹人織織物工業組合

ACTIVE KUMIAI

産地ブランドの確立を目指して



作り手を前面にPR

郡内地域の織物産業において、新しい動きが始まっている。個々の組合の枠組みを超え、OEMからの脱却を目指し、オリジナルブランドの確立を目指す企業グループの活動が活発化している。ヤマナシハタオリトラベルは、富士吉田織物協同組合(勝保明理事長)及び西桂織物工業協同組合(横田則夫理事長)傘下の11社により2012年9月に設立された。設立後間もなく、エキュート立川に初出展したところ好評を得たため、伊勢丹新宿、銀座三越、第1回フリンジマーケット(都留)、渋谷ヒカリエ、岡島百貨店、阪神百貨店、エキュート立川、デフリシニール吉祥寺、あべのハルカスなど、全国各地に出展している。

ヤマナシハタオリトラベルは、「富士山のふもと、スロープロダクツに出会う旅」をテーマとし、『東京からたった1時間の富士山の麓の富士吉田市と西桂町には、今もかわらず機械織りの音が響き、やさしい布とおいしいもの、元気のクリエーターが育っている。美しい自然とおいしい水の里で作られているからこそできるやさしい布たち。そんな布とクリエーターに出会える富士のふもとへトラベルしませんか』と呼びかけている。

県外で商品を販売することだけが目的ではなく、商品を手にとった方に産地に行きたい、その背景を知りたい、生産現場を見てみたい、作り手職人の話を直接聞きたいなどと思わせるような様々な工夫がなされている。

昨年8月の産地訪問バスツアーに参加したグラフィックデザイン事務所、nili design studioによる新しいパンフレットが3月に作成され、各社のオリジナルティを全面に押し出した商品展開を次々と行っている。

クールビズ、ウオーモムビズの影響によりネクタイ市場は縮小しているが、産地の若手のやる気が突破口となり、製品販売だけでなく観光までも含めた地域の活性化に貢献することが期待される。



渋谷ヒカリエの展示
(写真提供:富士工業技術センター)

TOPICS

山梨県畳同業組合連合会

畳の日フェスタが大盛況

ACTIVE KUMIAI



畳クッションの製作に取り組む子供たちと組合員

山梨県畳同業組合連合会(権正高夫理事長、10組合74名)では、4月29日の緑の日にあわせて畳の良さを県民にPRする事業として「畳の日フェスタ」を甲府市で開催した。

当日のイベントは組合の役員を中心に組合員22名が協力し、JR甲府駅南口で香りの良いイ草と組合パンフレットを通行者に配布しながら隣の山交百貨店で行う体験イベントを案内、山交百貨店催事場には子供90人を含む親子連れ200名以上が集まりました。

子供たちの体験イベントでは畳職人である組合員がサポートし、子供たちが自分で絵を描き彩色したオリジナルの縁を使った畳クッションの製作、10〜15cm程度のミニ畳の製作などを行った。畳クッションの製作は若手組合員からのアイデアを取り入れて今回初めて実施、ミニ畳製作は待ち時間ができるほどの人気であった。同時に、付き添いの大人たちには真新しいイ草の香りが高い特設の和室で抹茶をサービスするなど、「子供たちにもものづくりの楽しさを体験してもらいたいながら、大人には畳の良さを再認識してもらいたい」といった趣向を凝らした企画となり、子供からも大人からも大好評であった。

権正理事長は「畳クッションや抹茶サービスといった新企画もあり事前準備は大変だったが、畳の良さを十分にPRすることができ畳は日本特有の夏の高温多湿と冬の乾燥寒冷という風土の中から生まれた湿度調節機能を持った世界中で日本にしかない建材でもあり日本人の生活環境が変化する中で畳を使った部屋は減りつつあるが、抗菌や防臭効果があると言われている畳文化を守るためにも、畳の日フェスタを継続していきたい。」と語ってくれました。



特設和室での抹茶サービス

TOPICS

一般社団法人 山梨県鉄構溶接協会

工業系高校生への溶接技術教育へのサポート 関東大会で韮崎工業高校生が連覇、上位独占

ACTIVE KUMIAI

一般社団法人山梨県鉄構溶接協会(中出英三会長)は、業界の溶接技術者の育成、溶接技術の向上に関わる支援事業の一環で、全国でもいち早く業界の将来を担う高校生の人材育成に取り組んでいる。県内の工業系高校と連携し、高校生および教員に対する溶接実務研修などを実施している。

高校生を対象とした協会主催の溶接競技会は、高校生の日頃の学習成果を発揮する場として定着してきており、今年も6月7日に第6回山梨県高校生溶接競技会を開催し、上位2名を来年4月に行われる関東甲信越高校生溶接コンクールに、山梨県代表として派遣する予定である。

昨年6月に開催した第5回大会では、韮崎工業高校の志村優太選手が優勝、瀬川真暉選手が準優勝し、今年の4月26日、東京ビッグサイトで開催された第5回関東甲信越高校生溶接コンクールおよび今回初の開催となった全国選抜高校生溶接コンクールに山梨県代表として参加した。関東大会は11都県の代表22名が参加、全国大会は関東大会の上位2名と全国各地の代表15名が参加して技術的に高水準の熱い戦いが繰り広げられた。関東大会では瀬川選手が最優秀賞(1位)、志村選手が優秀賞(2位)を受賞し、全国大会では瀬川選手が2位、志村選手が3位と好成績を収めた。

山梨県代表は関東大会において大会第1回から2位、3位、2位、昨年度は優勝、そして今回は1位、2位を独占という好成績を収め、年々成果を挙げてきている。この好成績は、高校生自身の日々のためまね努力の成果であるとともに、大会前の事前講習会での協会インストラクターによる技術実技指導や会場機器などの借用料、材料費の負担をはじめとした協会の全面的なバックアップによるところが大きい。

今後も協会は、高校と連携しながら、業界のすそ野の拡大と二層の技能向上、普及推進に向けて活動していく中で、高校生が関心を持ちさらには溶接の資格を取得し、県内業界各社に就職・定着できる流れを目指していきたいと考えている。



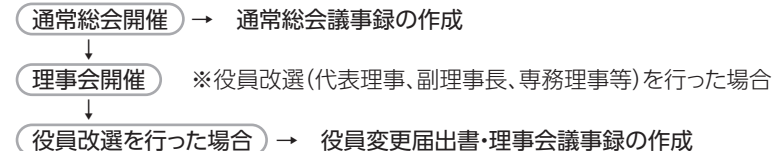
山梨県教育委員会での報告会

通常総会終了後の事務手続きの流れ

組合等の通常総会終了後、限られた期間内で事務処理(議事録の作成や役員改選に伴う書類作成など)を行うため、組合事務は多忙な時期を迎えます。

遅滞なく事務手続きが完了できるよう、下図(通常総会終了後のフロー図)を参考に適切な事務処理を行ってください。なお、書類作成等で分からないところがありましたら中央会指導員にお聞き下さい!

通常総会終了後のフロー図



●変更登記が発生する場合

- … 登記事項の内、定款記載事項(名称、主たる事務所、事業、公告の方法、出資・1口の金額、出資払込の方法、地区)に変更が生じた場合は、所管行政庁へ定款変更認可申請を行い、認可後2週間以内に変更登記を行う。
- … 代表理事の変更は、就任日から2週間以内に変更登記を行う。
※同一人物が留任しても変更登記が必要となる。

●定款変更を行っている場合

- … 所管行政庁に、
①定款変更理由書
②定款変更条文新旧対照表

③総会・議事録の謄本を提出

※通常総会終了後、2週間以内に、「決算関係書類・事業報告書・総会議事録」を所管行政庁へ提出。

●所管行政庁への提出書類

- ①決算関係書類提出書
- ②決算関係書類
(財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案又は損失処理案)
- ③事業報告書
- ④総会議事録の謄本

※所管行政庁への決算関係書類の提出を忘れずをお願いします。職権解散の対象となります。

お問い合わせ

山梨県中小企業団体中央会
〒400-0035 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4F
Tel 055-237-3215 FAX 055-237-3216
<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp>

情報BOX

金川の森「中小企業の森」の整備作業 ～ご案内～

中央会創立50周年を記念し、「金川の森」に植樹した中小企業の木々も元気に育っております。
当会では昨年に引き続き、下刈り等整備作業を実施し、その育成に努めていく予定であります。
本年は次のとおり計画しましたので、ご参加をお願い致します。

日時 平成26年 6月28日(土)
9:00～ セレモニー開会(小雨決行)
草刈り終了後、昼食配布、解散となります。

場所 金川の森 (笛吹市一宮町国分1162-1)

- 受付は8:30から、植樹会場で開始します。
- 当日は作業のできる服装でお越し下さい。
- 天候の状況によりましては、雨具もご用意下さい。
- 草刈りかまは、各自でご用意下さい。

●詳細につきましては、中央会(連携支援観光課)まで問い合わせ下さい。
皆様のご参加をお待ちしております!!

問い合わせ

山梨県中小企業団体中央会 連携支援観光課
TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216



経営者に聞きました!

このコーナーは、学生が県内企業の経営者を訪問し、企業の経営実態や求めている人材等について直接聞き取ることで、学生と企業の相互理解を促進し、雇用のミスマッチ等を解消することを目的としております。

学生企業レポート 第20回

▶第20回目となる今回は、山梨学院大学 現代ビジネス学部 2年 武川昌生さんが、株式会社 古名屋 代表取締役 伴野公亮氏 を取材しました。



経営者

株式会社 古名屋
代表取締役
伴野 公亮 氏

常在初心をモットーに



学生

山梨学院大学
現代ビジネス学部
2年 武川 昌生 さん

▶学生 会社の概要と事業内容について教えてください。

▶経営者

古名屋は明治45年に創業し、今では100年の歴史を超えるまでに至りました。現在の主な業務内容としてはホテル業をメインとして、宿泊、レストラン、宴会、ブライダルを行っています。また、外部の事業所として、ゲストハウスウエディング会場やワイナリーなどの運営も行っております。

▶学生 求める人材像とは?

▶経営者

古名屋自体の存在理由とその目的として「古名屋フィロソフィー」(企業理念)というものがあります。それは「古名屋は人と人の結びつき出会いに感謝し、歓喜と感動を創造して、縁する人々の幸福を実現していきます。」そして、「地域になくてもならない、歓喜、感動、創造企業として、各自が明るく元気に、爽やかに自己成長することを目的とします。」といったものです。この企業理念に共感、そして応えられるような人材を求めています。また、古名屋では「幸福の実現=自己成長」と考えており、縁する人々の幸福、そして自らの幸福のためには自己成長が必要だと考えています。求める人材ということであれば、自己成長を目指す人であるということも重要になってきます。

▶学生 従業員に持っていて欲しい意識はありますか?

▶経営者

古名屋には新入社員の勉強会というものがあります。そこで私はある問いかけをします。それは「皆さんは将来幸福になりたいですか?」というのですが、もちろん不

幸になりたい人はいませんから、皆さん手を挙げますよね。そうなった時に、あなたにとっての幸せってなんですか?ということになってくるわけです。一人一人の幸せの形というものは同じではないわけで、お金持ちになりたいという人もいれば、素敵な人と結ばれたいという人もいるというように、幸せの価値観はそれぞれ異なっています。ただ、全員に共通して言えることは、今日より明日が、今よりも未来が良くなることを望んでいるということです。では未来を良くするためにはどうすれば良いのかという時に、先程お話しした自己成長の意識というものが大切になってきます。

具体的に自己成長するためにはどういったプロセスが必要かと言うと、何か成し遂げたいことがある場合、まずは自分で調べたり、その事について詳しい人に聞いたりします。次に、実際にやってみる。そうすると結果はどうであれ、人はやってみた過程を通して様々なことを学びます。そういう「聞く・やる・学ぶ」という連続性を大切にしていけば、おのずと自己成長がなされ結果として幸福の実現へと繋がるのです。

私は自らが幸福であることで初めて、お客様を本当の意味で幸福にすることができると考えています。です

から、社員には幸福へと繋がる自己成長のための「聞く・やる・学ぶ」という意識を持っていてもらいたいと思います。

▶学生 社長の考える「おもてなし」とは?

▶経営者

自らが相手に対して、こうしてあげたいと自発的に考えるのかどうか大切になってくると思います。この、自発的が大事で、仕事だからやっていると思っている以上は、どれだけ素敵なサービスをしていても、それは本当の意味でのおもてなしとはいえないと思います。「利他の精神」という言葉があって、反対の意味を持つものとしては利己の精神ということになるのですが、この考えが大切になってくると思います。相手が喜んで本来は自分が得するわけではありませんが、利他の精神を持つことが出来れば、相手の喜びも自分の喜びとすることができてきます。そして、利他の精神を持って相手の喜びが自らの喜びとなり、相手に喜んで欲しいと思って行動したときが、本当の「おもてなし」というものではないでしょうか。

取材を終えて...

経営者の方への取材ということで、緊張を抱えたまま当日を迎えましたが、社長さんがとても気さくで楽しい方だったこともあり、終始和やかに取材を進めることができました。また、今回取材を通してお話をさせていただく中で、自分自身考えさせられることや、学ぶことが本当にたくさんありました。その全てを記事としてレポートに載せることができないのが非常に残念ですが、話して頂いた貴重なお話の数々は自分の財産として胸にしまっておきたいと思っています。

最後に、レポートの内容を記事に起こすにあたって、本来、字数制限のある記事の場合、内容の要点だけを抜き出して、例え話などは割愛するのが常ですが、私はこのレポートを読んで下さっている方に社長さんの人柄をできるだけ伝えたいと思いました。そこで、インターネットで調べれば出てくる情報である会社概要等は簡素にまとめさせていただき、代わりにそれ以外の内容を出来る限り充実させる形で記事としてまとめました。



情報BOX

平成26年7月から協会けんぽの

申請書等の様式が変わります



協会けんぽでは、加入者・事業主の皆さまにご記入いただく各種申請書等を「見やすく」「わかりやすく」「記入しやすく」するため、平成26年7月から様式を新しくします。

全国健康保険協会 山梨支部
協会けんぽ

〒400-8559 甲府市丸の内3-32-12 甲府ニッセイスクイビル7階
☎055-220-7750(代) 8:30~17:15 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

ポイント 文字を見やすくしました
読みやすさと誤読を防ぐために工夫された文字を使用しました。

ポイント レイアウトを工夫しました
記入欄を見やすく大きくして、記入漏れが少なくなるよう工夫しました。

ポイント 記入例を見やすくしました
記入の漏れや誤りを防ぐため、記入例のポイントを絞り、特にご注意ください。

ポイント 説明を分かりやすくしました
申請に必要な添付書類や、支給要件などを説明した「記入の手引き」をご用意しました。

(注) 申請書はイメージです。記載内容が変わる可能性もあります。

平成25年度補正

～新陳代謝型設備投資促進事業補助金のご案内～

老朽化した大規模機械装置の入替をお考えの方に

本事業は、中小企業・小規模事業者の方が保有する老朽化設備の新陳代謝を図るため、金融機関から借入を行い、老朽化に対処した大規模設備投資を行う場合に借入額の1%を上限として補助するものです。

1.事業目的

中小企業・小規模事業者が保有する老朽化設備の新陳代謝を促進するため、金融機関から借入を行い、老朽化に対処した大規模設備投資を行う場合、金融機関のモニタリング実績に応じ、借入額の1%相当を上限に設備投資費を補助します。

2.補助対象者

日本国内に本社を現に有する中小企業者
※中小企業者とは、「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいいます。

3.補助対象要件

- 中小企業・小規模事業者が以下の要件を満たす設備投資を行う場合、金融機関からの借入額の1%相当を上限に設備投資費を補助します。
- (1)老朽化設備を更新・増強するために同種の新たな設備を取得すること。
 - (2)金融機関から設備投資計画に係る設備資金の調達を行うこと。
 - (3)当該企業にとって大規模な設備投資（総設備投資額が総資産の15%超の設備投資）であること。
 - (4)金融機関から事業計画書の策定支援及び融資に係るフォローアップを受けること。
 - (5)他の補助金を併用しないこと。

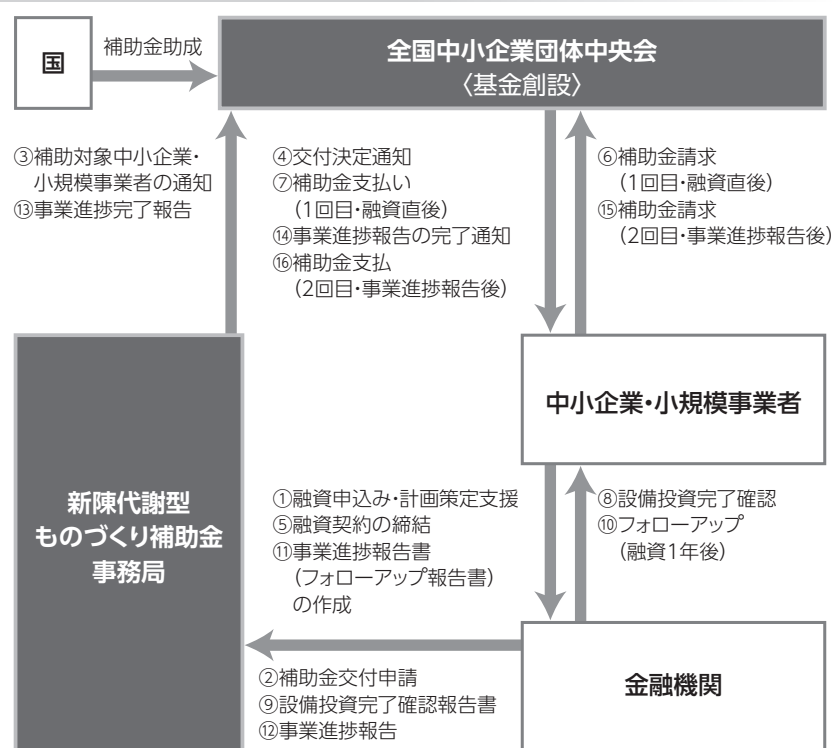
4.補助率

設備資金のうち、金融機関からの借入額の1%以内

5.募集期間

平成26年3月20日(木)～平成26年9月12日(金)〔当日消印有効〕
※本補助制度は随時公募とし、公募期間中であっても予算がなくなり次第終了となります。

6.事業スキーム



7.お問い合わせ

新陳代謝型ものづくり補助金事務局
TEL 0570-550-595 ナビダイヤル (有料)

※PHS、IP電話からのお問い合わせ先はこちら↓
TEL 03-5360-7530

※お問合せ時間：10:00～12:00、13:00～17:00
月曜～金曜 (祝日除く)



見守り、見守られ。

いつも車窓から見える富士山は、実に変化に富んだ表情を見せてくれる。時に優しく、時に厳しい、威厳に満ちた姿に私たちは励まされ、勇気をもらっている。

私たちの仕事は物を運ぶこと。国内物流の9割以上を担うトラック運送は、毎日休むことなく国内全域を覆い生活を支えている。

物流のプロとして、アイドリングストップ運動など、富士山をはじめとする美しい自然環境を将来に残すことにも真剣に取り組んでいる。

必要とされている物を、必要とされている場所に、安全に確実に届くように見守っていく。雄大な富士山に見守られながら。

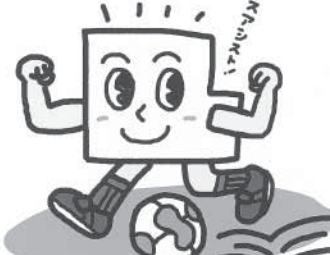
富士山世界遺産登録おめでとう。

エコ運転 富士と一緒に 我らの遺産
平成25年度環境標榜最優秀作品
© (一社)山梨県トラック協会・(公社)全日本トラック協会・後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

山梨中央銀行 www.yamanashibank.co.jp

あなたのビジネスを大きくアシストします。

山梨中銀 ビッグアシスト Neo



① 最大2億8千万円!
② 無担保でのお取扱い!
③ 第三者保証人不要!

※審査の結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

くわしくは山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ

0120-201862 (9)

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00(ただし、祝日・12/31～1/3は除きます。)

中小企業者のための共済事業

共済にかけて安心 伸びゆく企業

普通・総合・新総合火災共済
皆様の財産を火災や自然災害等からお守りする共済制度です。

生命傷害共済
病気・けが等により死亡や、けがによる入・通院費用等を保証する共済制度です。

休業補償見舞金共済
災害等によって休業した場合にその損失を補償する共済制度です。

医療総合保障共済
医療(病気・けが)共済とがん共済をセットした共済制度です。

当組合は、中小企業とその経営者・従業員の方々を対象とした共済事業を行っております。

3つの特色で皆様の企業をパワフルにバックアップします。

● 安い掛金 ● 迅速な支払 ● 剰余金は契約者に還元

山梨県火災共済協同組合 山梨県中小企業共済協同組合

甲府市中央1-12-37 IRIXビル3階
TEL(055)235-7564 FAX(055)235-7538

やまなし合同就職説明会2015の開催



中央会は、5月28日(水)に甲府市「ベルクラシック甲府」において「やまなし合同就職説明会2015」を開催した。

この説明会は、県内の中小企業が優秀な新卒学生を採用できるように開催し、来年3月に大学・短大・専門学校等を卒業予定の学生等とその学生等の採用を検討している中小企業70社と200名を超える学生等が参加した。

参加した学生等は、自らの希望

職種を求め幾つもの企業ブースを回り、仕事の内容や経営状況等の説明を熱心に聞いたり自己PRを積極的に行っていた。

また、参加した中小企業の採用担当者からは、コミュニケーション能力の高い学生に多く参加して欲しいとの要望も出されていた。

この説明会は、学生に新規学卒者の採用意欲のある県内中小企業の魅力を理解してもらい、企業選択の範囲を広げることを目的に、本会が昨年度より取り組んでいる「地域中小企業人材確保定着支援事業」の一環として開催した。

また、中央会では山梨県から委託されている「中小企業情報発信支援事業」においても同様の説明会の開催を予定しており、2つの事業で行う説明会の名称を「やまなし合同就職説明会2015」に統一し、企業の採用と学生の就職活動の機会を増やすことで、マッチングの効果を高めている。

次回以降の説明会は、6月25日(水)、7月25日(金)、8月26日(火)、10月8日(水)、11月6日(木)、12月10日(水)、2月17日(火)に甲府市「ベルクラシック甲府」を会場として開催する予定。説明会への参加企業を随時募集していますので、新卒学生の採用希望のある企業は、以下まで問い合わせ下さい。



問い合わせ

山梨県中小企業団体中央会 労働課 合同説明会担当 TEL 055-237-3215

編集後記

梅雨の時期となりましたが、体調の管理に気をつけましょう。

また、通常総会終了後の届出書類の整備につきましては、お忘れのないようお願いします。

ご不明な点がございましたら、本会指導員までご相談下さい。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



志村 武彦氏

山梨県菓子工業組合 理事長

旭日双光章

春の叙勲を組合関係者1人が受章

政府は、4月29日付で平成26年春の叙勲受章者を発表した。山梨県関係の受章者は42人が受賞し、組合関係者からは旭日双光章に志村武彦氏(山梨県菓子工業組合理事長)が受賞した。

栄誉
春の叙勲